

香川 景樹(かがわ かげき)

資 料

短冊『曳菖蒲 すみよしの 浅さは何の あやめくさ
引手に杜の 根ともかくらん 景樹』

作 者

1768(明和5). 4. 10—1843(天保14). 3. 27

因幡(鳥取県)生まれ。

二条派の歌人香川景柄の養子となるが、文化元年に景柄と離縁し、清水定固に和歌を学ぶ。賀茂真淵の万葉調の和歌に対し、古今和歌調の「調べの説」を唱え桂園派を創る。

参考文献

『百首異見(上・下)』(香川景樹／著 新典社(新典社叢書 6-7) 1981 [県立

911. 147/19/1・2(11933371/11933389)])

『香川景樹』(兼清正徳／著 吉川弘文館(人物叢書) 1973 [県立 289. 1/1025(10530228)])

『香川景樹研究 新出資料とその考察』(田中仁／著 和泉書院(研究叢書 204) 1997. 3

[県立 911. 15FF/115(20945028)])

